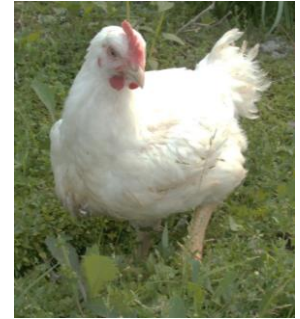


ブロイラーの健康

CHUNKY

健康なブロイラーとは

- 顔色が良い
- 立ち姿が良い
- 反応が良い
- 正常に歩く
- 羽毛がきれい
- 食欲がある



株式会社
日高チキン

こんなトリいませんか？



株式会社
日高チキン

不健康な状態とは？

- 呼吸器症状
- 消化器症状
- 歩行不正
- その他
枯れ、発育不良、心肺異常、
皮膚病変など

の症状を示すものを言います

株式会社
日高チキン

呼吸器症状

- 伝染性気管支炎⇒伝播早い、異常呼吸音
- 頭部腫脹症候群⇒咳、くしゃみ、顔面の腫れ
- 伝染性喉頭気管炎⇒開口呼吸、血痰
- マイコプラズマ症⇒開口呼吸、鼻汁漏出
- ニューカッスル病⇒急死、緑色下痢、
神経症状
- トリインフルエンザ⇒急死、開口呼吸、
チアノーゼ

株式会社
日高チキン

どこを観察するのか

呼吸器を順に観察する
気管⇒気嚢⇒肺



株式会社
日高チキン

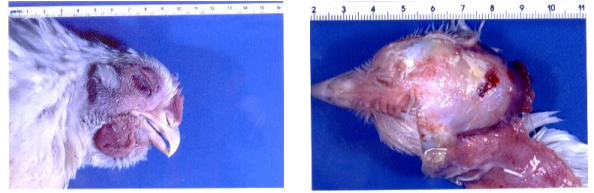
伝染性気管支炎



気嚢、気管支の炎症による粘液の増加
ワクチンの適正な使用が効果的



頭部腫脹症候群



顔面の腫れが顕著→皮下に化膿性炎症が見られる
ワクチンが効果的
ストレスを与えない管理



伝染性喉頭気管炎



呼吸困難

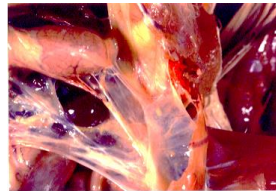
発生はあまり見られませんが、
発生地域ではワクチンが有効です



気管への血痰の充満



マイコプラズマ症



気嚢の混濁



関節の腫れ

種鶏への免疫が重要です



ニューカッスル病



神経症状

ここ数年の間に西日本での発生が報告されています
ワクチンにより防御可能です



トリインフルエンザ



チアノーゼ、顔面腫脹

これからの季節、農場防疫に努め
侵入を阻止しましょう



呼吸器症状を防ぐために

- 舎内の空気をできるだけきれいに保つ必要があります
- 床面の管理も重要です。乾きすぎは埃が増え、湿りすぎは有害なガスを発生させます
- ワクチンが有効な病気もありますので、確実に投与しましょう



消化器症状

- 伝染性気管支炎⇒急性下痢⇒床面悪化
- 伝染性ファブリキウス嚢病⇒乳白色水様性下痢、嗜眠
- コクシジウム感染症⇒血便を伴う急死、慢性下痢
- 壊死性腸炎(クロストリジウム感染症)⇒タール状便、泡沫便
- 大腸菌症⇒敗血症に伴う下痢



どこを観察するのか

便の状態⇒腹腔内の状態⇒腎・腸の状態



写真：Aviagen社



伝染性気管支炎



腎臓病変

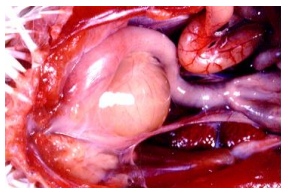


下痢により急激に汚れたトリ

ワクチンが有効ですが、地域により流行型が異なるのでワクチン選択が重要です



伝染性ファブリキウス嚢病



F嚢周囲の水腫



F嚢内部の出血

大腸菌症をよく併発します
ワクチンが有効です



コクシジウム感染症



血便および下痢

血便の充満した盲腸



ワクチンあるいは衛生管理が重要です

写真：PoultryMed

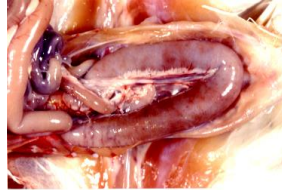
壊死性腸炎(クロストリジウム感染症)



泡沫盲腸便と肉様便



小腸の壊死

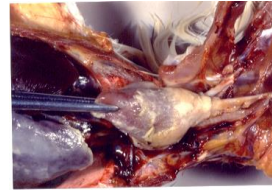
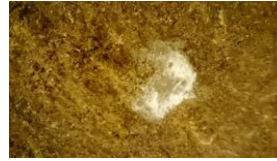


コクシジウム症と併発します
コクシジウム対策が有効です

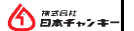
写真: Aviagen社



大腸菌症



下痢、排泄口周囲の汚れ
心嚢膜炎、肝包膜炎
できるだけストレスを与えない
管理が重要です



消化器症状を防ぐために

- 床面からの冷えを防止するため、床面悪化に注意しましょう
- 日和見感染的な病気もありますので、ストレスを与えない管理に勤めましょう
- 感染予防には空舎期間中、効果ある消毒を行い、飼育期間中もできるだけ農場内、鶏舎内に病原体を入れないようにしましょう



歩行不正を示す

- 大腿骨頭壊死⇒細菌感染による骨の異常
- 脊椎すべり⇒細菌感染による(犬座姿勢)
- ウイルス性腱鞘炎⇒レオウイルス感染による腱断裂⇒処理場での青脚
- 脛骨軟骨異形成⇒飼料栄養摂取不足による



細菌感染による不正歩行



脊椎すべりによる犬座姿勢

脆弱化した大腿骨頭



ブドウ球菌の関与が疑われます
舎内衛生管理が重要です



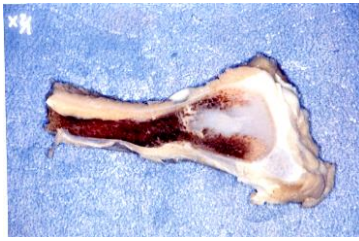
ウイルス性腱鞘炎



レオウイルス感染による腱断裂・出血
種鶏への免疫付与が重要です



脛骨軟骨異形成



骨端軟骨の過形成による骨の変形
飼料栄養の偏りが疑われます



その他の症状

- 枯れ
- 発育不良
- 皮膚病変
- 腹水症
- ポックリ病
- 急死



その他の症状(枯れ、浮腫性皮膚炎)



尿酸沈着による結晶の沈着
十分な水分供給を



ブドウ球菌による浮腫性皮膚炎
ヨード剤の噴霧が有効



その他の症状 (カビ性肺炎、アデノウイルス感染症) 封入体肝炎



カビの肺での増殖
敷料管理が重要です



種鶏への免疫が重要です
ストレスによりウイルスを
再排出することがあります

写真：Aviagen社



その他の症状(腹水症)

- 心臓・肝臓の障害により血管から水分が
腹腔内に漏れ出す



貯留した腹水



肥大化した心臓 (左)

新鮮な空気の供給、適切な温度管理が重要

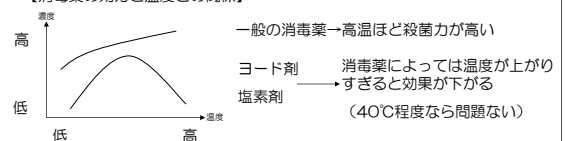


鶏舎消毒

【消毒効果に影響を与える要因】

- (1) 濃度 → 適正濃度で使用する
- (2) 量 → 対象物に対し十分な量を使用する
- (3) 時間 → できるだけ長く病原体と接触させる
- (4) 温度 → 一般的に高温で使用するほど効果が高い

【消毒薬の効力と温度との関係】



- (5) pH: 消毒薬毎に至適pHがある → 逆性石鹼 (アルカリ性)
塩素・ヨウ素系 (酸性): 石灰や逆性石鹼と混ぜない
アルコール、ホルマリン (中性): pH無関係
- (6) 有機物: 血液、糞便、土等の存在下では効果が落ちる



飼育管理

- 温度管理
飼育ステージに即した温度を確保
- 換気管理
酸素供給と水分除去
- 給餌管理
均一な給餌
- 給水管理
適切に消毒された水を使用
- 床面管理
体温保持、足裏からの感染防御



ワクチネーション

- 地域に応じたワクチン株の選択
契約獣医師に相談してください
- 正確な調整
管理温度、調整水温、投与時間
- 投与確認
ブルーダイ等の着色料の使用
血液による抗体検査の実施



死亡羽数が多い時

- トリインフルエンザ、ニューカッスルは
法定伝染病に指定されています。速やかに
家保等の行政機関に報告しましょう
- マイコプラズマ症、伝染性気管支炎、
伝染性喉頭気管炎、ファブリキウス嚢病等
も届出伝染病に指定されておりますので、
発生した場合は行政に届け出ましょう

